

私を語る

第29回

Y. T. 新制22回

昭和47年 児童学科卒

幼少の頃からスポーツ少女。小学校はソフトボールで県大会出場、中学ではバレーボール、高校は卓球で東京都ベスト8。大学でも全日本卓球選手権大会に出場した。児童学科では児童心理を学び、幼稚園・小学校教諭免許状取得のための教育実習等、友人にも恵まれて充実した学生生活を過ごした。

卒業後某大学の研究室の秘書になった私は図書館の階段ですれ違った大学院生とfall in love…。大学紛争の闘将だった夫は企業に就職できず資格試験勉強開始〜かくして「神田川」の歌のままの新婚生活が始まった。闘将だった夫はバイタリティーの塊、スポーツ少女だった私は明るさの塊。原石の夫と子どもを少しでも磨くべく(笑)家庭マネジメント業に専任した。

子育てのモットーは子どもの居心地の良い場所をたくさん作ること。子どもにとって両祖父母の愛は無条件の安心感・学校の先生の愛は積極性・そして友人の愛は社会性を育ててくれる。親の愛は自分自身を好きになり、心身共に自立した人になる。夫のワシントン留学時には小学校を半年休み、白夜のポトマック川で遊び、カナダまで自炊旅行をしたり、帰国時はアメリカ横断ドライブをして、語り尽くせない様々な経験を共有した。その間、民生委員・児童委員・教育委員、卓球指導員として地域の方々と連携した。意識していなかったが改めて考えると三綱領「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」が私の家庭マネジメントの基になっていた。

生まれ変わってももう一度、こんな自由で面白い人生を楽しみたい。

しあわせはいつもじぶんのこころがきめる みつを